



# 藻かき

Photo 柴田忠幸、郷田 満、明石 徹、滝沢 享 編集 滝沢 享 稲森 豊、岡田寿夫、杉原武弘

## 秋季大会

滝沢 享

十月十二日(日)、徳島県内の河川に於いて、会員25名の参加を得て開催した。

午前6時30分、旧吉野川三ツ合橋上流の駐車場に集合。稲森会長の挨拶、郷田理事長より競技方法の説明と前日の釣況報告があり、飯尾川の少し上流の養殖場付近で、40cm混じりで枚数が出たとの事。

フリーでの入川で、前日釣れた飯尾川に殆どの会員が入った。上流の養殖場付近にへらを含めかなりの群れが入っており、タナを下げればマブナやコイ、カメ等が釣れ、短竿の宙層狙いで35cmと40cmの良型が20と40枚釣った会員もいた。

午後4時、検寸終了。

飯尾川上流左岸に入った私、滝沢が最長寸47・1cmと40cm上を釣り優勝。2位の稲森さん、3位の杉山さんは養殖場付近に入り良型を釣り入賞した。果率84%。

尚、本秋季大会には皆様から賞品寄贈を頂まして、有難うございました。また、杉原さんより瓢々十四尺の竹竿の寄贈を頂き、有難うございました。



飯尾川中流・右岸中洲で竿を絞る白井さんと大橋さん





飯尾川養殖場対岸・好調に良型の数釣りが楽しめた。竿を絞る北尾さんと熊田さん



旧吉野川の養魚場裏の加藤さんと竿を絞る松下さん



飯尾川上流の38級

旧吉野川  
風景・飯尾川  
秋季大会

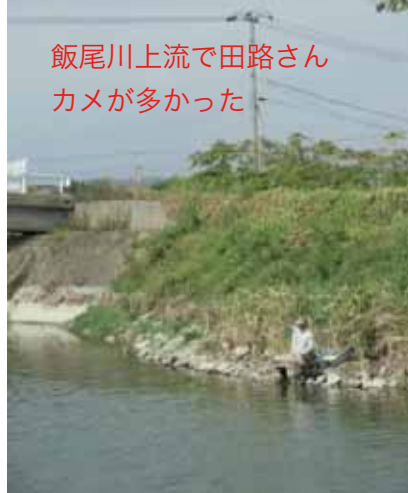
**五月例会成績表** (ヘラブナ二尾長寸)

優勝	滝沢 享	87.4cm	350点
2位	稲森 豊	81.1cm	340点
3位	杉山 健一	78.6cm	330点
4位	郷田 満	77.8cm	320点
5位	栗原 天高	76.0cm	310点
6位	高木 勇作	75.4cm	300点
7位	田路 秀一	75.0cm	290点
8位	加藤 仁	74.9cm	280点
9位	白井 良紀	74.6cm	270点
10位	熊田 智文	74.5cm	260点
10位	藤井 栄子	74.3cm	250点
12位	北尾 博之	74.0cm	240点
13位	藤井 秀和	72.6cm	230点
14位	松下 英樹	70.6cm	220点
15位	脇阪 博蔵	70.4cm	210点
16位	明石 徹	69.9cm	200点
17位	柴田 忠幸	69.6cm	190点
18位	川上大二郎	68.1cm	180点
19位	元吉 茂司	66.1cm	170点
20位	大橋 充	35.6cm	160点
21位	伊藤 規行	34.3cm	150点

(以下参加点100点)  
岡田 寿夫、三木 修、  
安藤紀久夫、柴田美恵子



たくさんの賞品寄贈有難うございます  
瓢々十四尺は当日12日にちなみ12位に  
当たりました(北尾さん)



飯尾川上流で田路さん  
カメが多かった



飯尾川の護岸上から藤井さん



42cmのヘラを持つ稲森会長





柴田さん

初めてのポイントで大当たり！

優勝者 滝沢 亨

秋季大会は恒例の徳島県だ。以前は「蛇口を捻ればヘラが出る」とまで言われ、魚影の濃さが定評で藻があればヘラが鈴なりになっていたが、今や旧吉野川や今切川はバス釣りの名釣り場となつてしまい、最近のポイントを探すのに一苦労している。

今日は森田さんが休みの為、田路さんと2人で午前4時30分に出発。道中いづれどこに行こうかとあれこれ検討するが、昨日から試釣にきている郷田理事長の情報で飯尾川が釣れているとの事で、型が大きい飯尾川方面にした。

集合時間の10分前に到着。昨日の

釣況報告ではやはり飯尾川に於いて40cm混じりで数が出た様だ。

フリーでの出発となったが、ここでトイレタイムと小休止。慌てる事無く飯尾川へ向かう。

8月に某クラブの方が良型の数釣りを持たたと聞いて飯尾川の上流部へと向かう。状況を見ると水深はありそう、時々中央部でモジリが見られるが雰囲気イマイチ。

そのまま少しづつ下流へ移動しJRの線路を越えたあたりに釣り人がいてタナゴを釣っているとの事。

その人曰く「台風が来るので9月30日に堰を開けた」との事で水位が1m位減っており川底があちこち見えて釣りにならない。と言う事は溜まっていた魚が水深のある場所に落ちていると言う事で、更に下流へと進むと飯尾川公園を過ぎた天神橋のすぐ下流で水深がありそうな場所があった。様子を見るため河岸まで下りると尺位のヘラブナが10m位の範囲で無数にいた。

橋下の浅場で田路さんが40cm前後のヘラ数尾を見たとの事で、見えているのは小さいが、その下には大きなヘラがいるかも知れないので竿を出すことにした。

草が鬱蒼と茂っているが何とか釣

り座を確保し、竿13尺を出す。支度をしている間にあれだけいたヘラが全く見えず、何処かへ行ってしまった。見えていたのは小さかったので気にせずエサ打ち開始。

2投目で早くも触りが出て、すぐにマブナが釣れた。その後もアタリがありマブナやミドリカメの尺上が釣れる。落ち込みでも触るのでウキ下を20cm切りでカメは少し釣れなくなつたが、相変わらず良型のマブナは釣れる。そうこうしているとようやく34cmのヘラが釣れひと安心。

その後もアタリは頻繁にあり、なじみ際のアタリを取る様にし、38・5cm、35cmを追加し権利獲得。

しかし、マブナやカメは釣れていてその間を抜けて突然大きな口を開けて40cmは越えているヘラが釣れて来た。一度、玉網に入ったが掬い損ねて外へ、その時上バリが網に引っ掛かりハリスが切れてしまいそうになるが、思わず玉網を腕いっぱい伸ばし再度網の中に収めた。検寸すると47・1cmの良型でした。大型狙いと違い例会時の玉網は尺1のやや浅めのもので、掬った時には尾が外へ飛び出していました。

それから38cmと40・3cmの計6枚が釣れましたが、田路さんがまだ

ヘラは1枚とマブナとカメと格闘ばかりだったので、ポイントを譲りましたが地合い落ちの様でヘラは釣れず、旧吉野川のJR下流のポイントへ移動する事にしました。

旧吉野川は水位が上がっていて、田路さんに待望の2枚目がすぐに釣れ、その後の数枚釣っていました。

こちらは少しポイントから外れた所で竿を出していたので、マブナ、コイのみで終わってしまいました。

集合場所へ戻り、表彰が始まり秋季大会では久しぶりの優勝が出来ました。徳島へ来た時はいつも午前中は新場所を探しながら釣り、ダメなら旧吉野川へ行き、型は小さいながらも釣つて来ましたが、今回はうまく当たりました。

優勝を決めた47・1cmのヘラ





秋季大会 徳島県の河川 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 滝沢 享	13尺	2号	1号	上 8号 下 7号	上 マッシュ、もじり、BBラッシュ 下 新べらグルテン、α21	水深1.2m 床 20cm切	6枚
2位 稲森 豊	12尺	2号	1号	上 8号 下 8号	上下とも マッシュ、藻べら、 グルテンLL、ペレット	水深2m 宙1m	45枚
3位 杉山健一	19尺	2.5号	1号	上 7号 下 7号	上下とも 新べらグルテン	水深1.3m 床 30cm切	30枚
4位 郷田 満	13尺	2号	1号	上 12号 下 12号	上下とも マッシュ、BBラッシュ、 藻べら、新べらグルテン	水深1.5m 床 30cm切	40枚
5位 栗原天高	19尺	2.5号	1号	上 7号 下 7号	上下とも 新べらグルテン	水深0.9m 床 10cm切	10枚